

医学研究実施のお知らせ

腎・透析科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、患者さんの氏名等の個人情報が明らかにならないようにしたうえで、学会発表や学術雑誌等で公表します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問合せがあれば開示いたしますので、【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】

「血液透析患者における透析導入時の血漿レニン活性の特徴」

【研究責任者】

甘利 佳史

【研究の概要】

（１） 研究の背景

血漿レニン活性高値は心血管イベント（心筋梗塞や脳梗塞、脳出血、高度閉塞性動脈硬化症など）の独立した予測因子であることが報告されています。一方、血液透析患者さんは心血管疾患の合併症の発症率が高く、予後が不良であるとされております。その原因の一つとして、レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の亢進が関与すると考えられております。

（２） 研究の目的

今回、当院で血液透析療法が導入となった患者さんにおいて透析導入時の血漿レニン活性値の特徴について、各種臨床データを解析し、臨床効果を検討します。

(3) 研究期間

研究許可日～2030年 3 月 31 日

この研究は、守口敬仁会病院の倫理（統括）委員会の承認を受け、守口敬仁会病院病院長の許可を受けて実施するものです（承認番号：202317）。

(4) 研究の対象

当院で血液透析療法を開始した患者さんを対象とします。

(5) 研究の内容と方法

血液透析療法導入時（初回血液透析）の際に実施されている定期的血液検査を活用し、血漿レニン活性値と各種患者背景因子との関連について評価・検討します。その後、通院透析となった際にも、各患者さんに毎月実施されている定期的血液検査や画像・生理機能検査を活用し、導入時後のデータ推移や予後について評価・検討します。

(6) 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：血液
- ・情報：①患者基本情報として、年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、喫煙歴、心血管イベントの既往歴など（この際、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人を特定するような情報は研究に用いません）②疾患情報として、透析に至った原疾患、病歴、使用薬剤など、③血液データ以外の検査情報としてX線検査（心胸比）CT 検査（内臓脂肪量）超音波検査（心臓、頸動脈）などの結果・所見など

収集した情報は、解析する前に氏名・患者 ID などの個人情報を削り、新たな符号（番号）をつけ、どなたのものかわからないようにします（このことを匿名化といいます）研究成果を学会や論文で発表する際も、個人が特定できる情報は利用いたしません。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17:00）】

社会医療法人 彩樹 守口敬仁会病院 電話 06-6906-9000

研究責任者 腎・透析科 部長 甘利 佳史